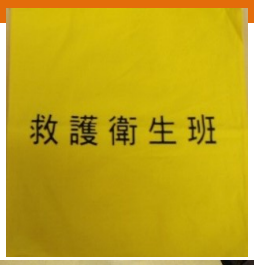
【救護衛生班】
救護衛生班でやること！（オモテのみ）

【班長は手順書を読んでください】

救護衛生班の黄色のゼッケンをつけてください。
※青ボックスは救護衛生班で管理します。





これからやることは
1.医療救護所開設の準備
2.トイレの使用準備
3.感染症対策の周知
4.避難者の健康管理です。
数グループに分かれて各作業をおこなってもらいます。

次の手順書を読んでください！

【救護衛生班】

医療救護所の場所

（オモテのみ）

現時点で医療救護所の場所は決まっていますか？
決まっている場合と決まっていない場合で対応が異なります。



○場所が決まっている場合

⇒次の手順書を読んでください。

○場所が決まっていない場合

⇒運営本部班で救護所の場所を検討中です。場所が決定したら本部班から連絡がくるので、それまでは2.トイレの使用準備の手順書を行ってください。

【救護衛生班】

1.医療救護所の開設準備（オモテ）

【はじめに】

医療救護所は避難所に参集する医師会、歯科医師会、薬剤師会の人達と協力して開設していきます。

医療救護所の設営

医療従事者の方と相談して、受付の場所や診察の場所などを決定および設営します。
また、備蓄倉庫から必要物資も取り出しましょう。
２グループに分かれて救護所設営と物資搬入を行います。

必要な人数は６人。
班長は６人を選びこの手順書を渡してください。

必要物資は裏面を確認しましょう

【救護衛生班】

1.医療救護所の開設準備　（ウラ）

下記の備品を備蓄倉庫から運んでください
※消毒液やフェイスシールド等の感染症用品は「はじめにやること」の手順書で玄関付近に搬入しています。必要に応じて救護所に運んでください。

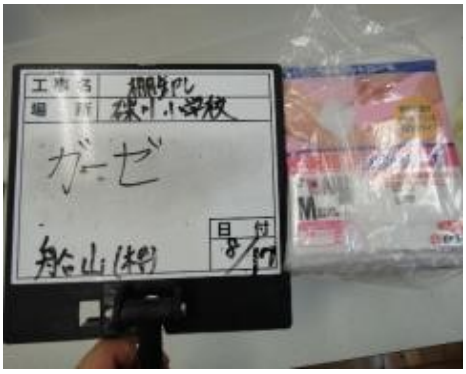
①車いす



②医薬品



③ガーゼ



④清拭タオル



⑤トリアージタッグ



⑥包帯



作業が終わったら班長に報告しましょう！

【救護衛生班】

2.トイレの使用準備　（オモテ）

トイレの使用準備を行います。
作業としては、
①洋式トイレにトイレ袋を設置
②汚物をいれる集積袋の設置
③掲示物の掲示
の３つです。

必要な人数は４人。
班長は４人を選び、この手順書一式を渡してください！

作業の詳細は裏面を確認しましょう

【救護衛生班】

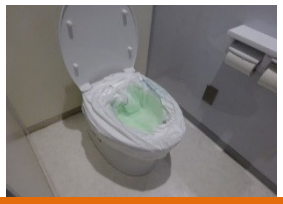
2.トイレの使用準備　（ウラ）

【はじめに】

トイレは避難者の一般避難者スペース（体育館）や要配慮者スペース（本部班が場所を決定）近くの３か所程度で準備をします。
参考資料①の学校図面を確認し、どこのトイレで準備をするか決めましょう。
場所が決まったら、下記の①～③を行います。

①洋式トイレにトイレ袋を設置

備蓄倉庫から**トイレ袋（サニタクリーン）**と**ごみ袋**を取り出し、洋式トイレに設置します。
設置方法については次のページの参考資料②を確認してください。



②汚物をいれる集積袋の設置

養生テープ等を使い、①で取り出したごみ袋をトイレ内に設置してください。



③掲示物の掲示については
次のページに記載しています

【救護衛生班】

2.トイレの使用準備 （オモテのみ）

③掲示物の掲示

下記２種類をトイレ内に掲示します。

- **トイレの使用方法**
- **手洗い方法**

養生テープなどを使用し、トイレ内の目立つ位置に貼ってください。

トイレ内の使用方法

（掲示用）

洋式トイレの使用方法

①トイレに入る前に、トイレ入口に置いてあるごみ袋と便袋(サニタクリーン)を１枚ずつ取ってください。

②トイレ使用後は、次の人が使用するために、青枠内の手順でごみ袋等をトイレにセットしてください。

③トイレ使用後の袋は、脱臭剤をふりかけ、トイレ内に設置してある集積袋に捨ててください。

※下水が復旧するまでは、
便器に溜まっている水は流さないでください！

1．便座を上げ、ごみ袋をセットします。



2．便座を下げ、便袋(サニタクリーン)をかぶせて使用します。





手洗い方法



作業が終わったら班長に報告しましょう

【救護衛生班】

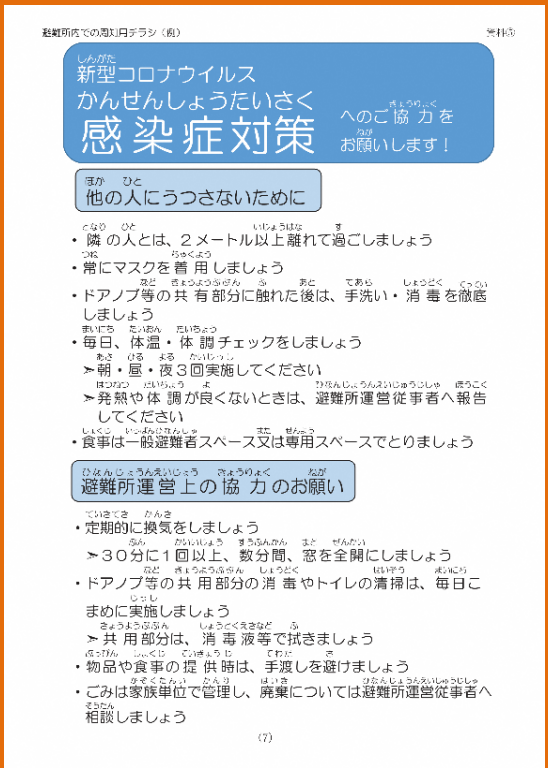
3.感染症対策の周知　（オモテのみ）

感染症対策の掲示物の掲示

避難所の衛生環境を保つために、ケース内にある「感染症対策へのご協力のお願い」を体育館や受付等に掲示します。

必要な人数は２人です。
班長は２人を選び、この手順書を渡してください。

感染症対策へのご協力のお願い



避難所内での周知用チラシ（表）　資料⑤

新型コロナウイルス
かんせんしょうたいさく
感染症対策　へのご協力をお願いします！

他の人にうつさないために

・隣の人とは、２メートル以上離れて過ごしましょう
・常にマスクを着用しましょう
・ドアノブ等の共有部分に触れた後は、手洗い・消毒を徹底しましょう
・毎日、体温・体調チェックをしましょう
　➢朝・昼・夜３回実施してください
　➢発熱や体調が良くないときは、避難所運営従事者へ報告してください
・食事は一般避難者スペース又は専用スペースでとりましょう

避難所運営上の協力のお願い

・定期的に換気をしましょう
　➢３０分に１回以上、数分間、窓を全開にしましょう
・ドアノブ等の共用部分の消毒やトイレの清掃は、毎日こまめに実施しましょう
　➢共用部分は、消毒液等で拭きましょう
・物品や食事の提供時は、手渡しを避けましょう
・ごみは家族単位で管理し、廃棄については避難所運営従事者へ相談しましょう

（7）

作業が終わったら班長に報告しましょう

【救護衛生班】

4.避難者の体調管理　（オモテ）

避難者の体調管理は救護衛生班で行います。
総務情報班が受付で「体調チェック表」を避難者に配付するので、そのチェック表の確認を行い、避難者の健康状態を把握します。

裏面にも記載があるので、そちらも読んでください。

体調チェック表

【様式２】

体調チェック表（例）

ふりがな	年齢	※その他　記入事項
氏名	歳	

		／（月）	／（火）	／（水）	／（木）	／（金）	／（土）	／（日）
体　温		朝　℃ 昼　℃ 夜　℃	朝　℃ 昼　℃ 夜　℃	朝　℃ 昼　℃ 夜　℃	朝　℃ 昼　℃ 夜　℃	朝　℃ 昼　℃ 夜　℃	朝　℃ 昼　℃ 夜　℃	朝　℃ 昼　℃ 夜　℃
［息苦しさ］	一つでも該当あれば「はい」を選択 ★息が荒くなった（呼吸数が多くなった） ★急に息苦しくなった ★少し動くと息があがる ★胸の痛みがある ★横になれない・座らないと息ができない ★肩で息をしている・ゼーゼーしている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
［味覚・嗅覚］	味や匂いを感じられない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
［喀痰（かくたん）・咳嗽（がいそう）］	咳やたんが、ひどくなっている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
［全身倦怠（けんたい）感］	起きているのがつらい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
［嘔気（おうき）・嘔吐］	吐き気や嘔吐が続いている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
［下痢］	下痢が続いている（１日３回以上の下痢）	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	【その他の症状】 食事が食べられない、半日以上尿が出ていない、鼻水・鼻づまり、のどの痛み、結膜充血、頭痛、関節筋肉痛、けいれん、その他の気になる症状	はい・いいえ （具体の症状）	はい・いいえ （具体の症状）	はい・いいえ （具体の症状）	はい・いいえ （具体の症状）	はい・いいえ （具体の症状）	はい・いいえ （具体の症状）	はい・いいえ （具体の症状）

【救護衛生班】

4.避難者の健康管理　（ウラ）

【体調チェック表について】

①避難者の体調チェック表の確認は１日１回以上実施します。実施時間は本部班で決定されます。

②実施時間になったら、班内で手分けして、居住スペース（体育館等）の避難者の体調チェック表の確認を行ってください。
※専用スペースの避難者については、総務情報班が体調確認を行い、救護衛生班に報告することとなっています。

③体調チェック表に問題のある方がいれば医療関係者の方に相談してください。

以上で救護衛生班の手順書は終了です。
手順書に記載がない問題等が発生した場合は本部班等と相談して対応にあたっていきましょう。

【救護衛生班】

けが人の対応について

オモテのみ
参考資料

医療関係者が到着していない場合

①可能な範囲で手当をします

けがをした避難者がいる場合は青ボックスに入っている救急バックと救急テキストを参考にして可能な範囲で対応してください。

②避難者への呼びかけ

避難者の中に医療有資格者がいるかもしれないので、協力を呼びかけます。

③重傷者は１１９番通報

生死にかかわる重傷者は１１９番通報してください。



青ボックス



救急テキスト